



# 農大での学びを振り返って

## 果樹コース



私は、2年間の作業を通して、いろいろな技術と知識を身に付けました。印象に残っているのは、二十世紀梨の樹を1人が1本管理したことです。樹によって特性があり、しっかりと向き合って管理する事が大切になるので、難しかったです。2年生になってからは、1年生に対して作業の説明をしました。私が1年生の時にに行った作業を振り返り「自分自身どこが難しいと感じたか」を思い出して資料など作成しました。

1年生の皆さん、長期休みなどが作業の忙しい時期とかぶり、辛い部分もあると思います。ですが、それも果樹の魅力だと思い協力して頑張ってください。

果樹コースの皆さんとは、楽しく作業をできて、色々な思い出も作れました。みんな違う道に進みますが、日本1位にはなれると思います。なぜなら、良い先生に恵まれているからです。

横山 剛志

## 野菜コース



農大での2年間は、あっという間でとても濃く充実した時間でした。入学当初、県外から来た私にとって、鳥取県での生活は期待と不安が入り混じっていました。しかし、農大での生活を送るにつれ不安は消えていき、楽しいことが多い日々になりました。

時には壁にぶつかったこともありましたが、明るく元気な仲間にも恵まれ、乗り越えることが出来ました。また、いつも優しく、そして厳しく、指導してくださった先生方、いつも見守ってくださった舎監さん、いつも美味しいご飯を作ってくださった食堂の方々、沢山の方に支えていただいたおかげで、成長することが出来たのではないかと思います。本当にありがとうございました。

そして新2年生の皆さん、できるだけ沢山の睡眠を取り、朝ごはんを食べて頑張ってください。

中島 貴紗蘭

## 花きコース



農大に入学してからの2年間はとても早く、1日1日が濃厚な日々でした。毎日花に触れながら過ごしていく中で感じたことがあります。それは、花などの植物はただ育てているだけでは上手くいかないということ。毎日よく観察し、ちょっとした変化に気づくことが重要であること。私はこの2年間、植物と過ごしてきてもまだまだ難しいと感じます。卒業後は、農大で出会えた人々に感謝をし、自分がこれまで身につけた知識や技術を精一杯発揮して、まい進していけるよう頑張ります。

新1年生の皆さん、入学してから初めてのことがばかりで、精神面でも体力面でも辛いことは沢山あります。周りとは比べず、無理せずに自分のペースで大丈夫です。農大でしか過ごせない日々を思いっきり楽しみ、取り組むべきことには精一杯取り組み、農業の知識や技術を貪欲に学び、自分のものにして頑張ってください。応援しています！

中原 愛花

## 作物コース



卒業を間近に控え、いま感じる事、それは2年間が早かったなあって事です。

私は農大に入学して初めて農業について学び始め、特に1年生の時は本当に初めての作業が多かった事もあり、みんなに付いていだけで精一杯でした。そんな自分にも後輩ができ、作業などの指導をするなかで相手に分かるように伝える事はとてもむずかしく、そして最も重要だと改めて感じるようになりました。

1年生へ、2年生になったら新1年生が入学してきて、1年間経験した作業などを指導する立場になります。困ったことが起きたら、お互いに助け合いをしてください。プロジェクトを進めるうえでも、自分は遅れてないかな？終わるかな？とか内心焦る事があるかもしれませんが、けれども、大丈夫です。すぐそばには同級生の仲間がいます。相談すれば聞いてくれたり、助けてくれたりすると思います。残りの1年はあっという間に終わってしまうと思うので、やるべき事をやって後悔しないように最後の学生生活を楽しんでください。

最後に、安部、入澤、漆原、國石、馬田、大村へ。この6人がいたから2年間、作業の時間や学校以外の時間も楽しめました。2年という短い期間でホンマに沢山の思い出が出来ました。「ありがとう」そして、これからもよろしく！  
奈海 拓海

## 畜産コース



農大での2年間は、あっという間でした。最初は、牛が怖くて触ることも近づくこともできませんでした。しかし、牛を飼育していく中で牛に触れたりすることで牛に慣れていきました。そして、何よりも全国和牛能力共進会に向けて牛の調教や追い運動を畜産コースみんなで一丸となって取り組み、全国の舞台に2年生4人で出場し、8席といういい結果が出せたことが1番の思い出になりました。何より牛のハンドラーをさせて頂いたことには、感謝しかありません。

1年生の皆さん、学校生活を楽しんで、勉強や実習を頑張ってください。そして、皆さんが2年生になったら1年生が農大に入学してくるのでしっかり指導してあげてください。

先生方、畜産コースのみんな2年間ありがとうございました。

大村 雄大

## 養成課程学生の卒業後の進路

(令和5年2月17日現在)

就農  
(雇用就農含む)  
56%

進学  
8%

農業関係就職  
28%

その他  
8%

## 研修課程



私は、スキルアップ研修を西瓜と裏作のハウレンソウで受講しました。

研修期間中は、圃場（ハウス1棟）の管理を任せいただき、それぞれの作目について定植前準備（元肥、耕耘）から播種、育苗、防除、収穫、出荷調製など一年を通して実際の作業を体験する事が出来ました。さらに、研修科の圃場には専攻以外の作物も多く作付けされていたので、同期の研修生らと収穫・調製などの管理を楽しんだり、入校までは使用したことなかった農機具やトラクターなどの操作方法も丁寧に指導していただきしっかりと使いこなせる様になりました。

また、学生達と一緒に講義も、10数年振りの座学と言うこともありとても新鮮な感覚で受けることができました。講義内容についても就農後に実際に活用できるものばかりでとても勉強になりました。

研修の一年間はあっという間でしたが、思い返せばとても充実したものでした。

修了後もフラッと立ち寄って就農後の近況報告したいと思ってしまう。

そんな農業大学校、いい所です！

(令和3年度スキルアップ長期研修) 杉本 直耶

# 卒業生の近況報告



## 令和2年度 ■ 果樹コース卒業 長尾 淳平 さん

卒業後、富ますシルクファームに就職しました。

富ますシルクファームでは基本的にミニトマトの管理、大型機械の運転を主に仕事をしています。今年（2023年）は入社3年目となり、ミニトマトの管理を1年間担当することになりました。

卒業して感じたことは、農大で時間があるうちに、資格などはできるだけ取っておくと良いということです。資格があると、できる仕事や頼りにされる事が多くなるので、就職してからでもより一層、充実した日々を送ることができます。

在校生の方々は農大での生活を、ぜひ楽しんでもらえればと思います。



## 令和3年度 ■ 野菜コース卒業 初田 優真 さん

私は農業大学校卒業後、鳥取市の竹内クレーン工業ふんふんふあーむに就職しました。

本農園は、フルーツトマトとイチゴの生産を主に、イチゴ狩りやキッチンカーでの加工品販売、東京方面への出荷などを行っています。農大で培った経験や学びを活かし、初年度ながらトマトの栽培管理を任されるなど、毎日多忙ながらも、楽しく作業を行っています。

社会人として働きだしてから、学生の時には経験しなかったような課題や困難が、幾度となく起こります。しかし、それから逃げずに取り組み、必ず皆さんの経験と糧になります。「石の上にも三年」です。大切なのは、自分ならできる！と思いつくことです。今後の農大生の皆さんの頑張りを心から応援しています!!



## 令和3年度 ■ 花きコース卒業 山本 創 さん

私は現在、北栄町にある合同会社ふれあいでは働いています。

ここは福祉サービスを提供する会社で、利用者の方を農業などを通して一般就労まで導く就労支援を行っています。まだまだ力不足で上司、先輩などに助けられながら働いています。

さて、これから社会に出る皆さん、心身ともに疲れることが多くなるでしょう、そんな時に大事なことは「自分おつかれ！」と自分自身を労ってあげることだと思います。これが出来ればそこそこ楽しく暮らせるはず。未来の幸せを掴んだ自分を想像しながら頑張っていきましょう。ひっそりと応援しています。



## 令和3年度 ■ 作物コース卒業 安養寺 陽人 さん

私は現在、因幡環境整備株式会社の食品リサイクル部門で働いています。食品リサイクル部門では会社の基本業務で収集した生ゴミを肥料に再生し、その肥料を使って米や野菜の無農薬栽培をしています。作った農作物は自社ブランドとして調製・出荷しているため覚えることは多いですが、学べることの幅が広く、面白いです。

働き始めてすごく思うのが、時間は有限だってことです。何もしてなくても何かしても1日は終わっていくし、休日なんて気がついたら終わっているレベルです。なので、社会に出て大切になってくるのが、自分の時間をコントロールするということです。自分の時間を管理できれば出来ることも増えるし、仕事でも強いです。あと睡眠は本当に大事ですよ。



## 平成30年度 ■ 畜産コース卒業 伊藤 歩 さん

私は農業大学校卒業後、独立行政法人 家畜改良センターに就職し、北海道にある十勝牧場 業務第1課飼料班で働いています。飼料班では主に約740haの圃場を管理し乾牧草ロールやラップサイレージなどの飼料生産を行っています。飼料生産という分野は私が農業大学在学中で出会った『面白い』と感じた分野です。新たな発見や学びを得ることができ、充実した日々を過ごしています。皆さんも自分が感じる『面白い』に出会えるよう学生生活を楽しんで過ごしてください。